

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮古島市立鏡原中学校（沖縄県）

【取組内容①】「1授業1アウトプットの実践」

取組内容

各教科では、スライドやジャムボードなどを白紙共有し、学級全体で共同編集を行いながら学習を進め、各自で学習中に他者参照を行いながら生徒一人一人が自分自身で学習をアウトプットする場面の設定を行った。

工夫点

各教科でスプレッドシートやジャムボード等を活用し、生徒一人一人がアウトプットする場面を設定した。特に振り返りをスプレッドシートで行う教科が多く、生徒自身で自分の学びを文章化することができている。

社会

スプレッドシート

- ・一覧になっているため、他者参照がしやすい。
- ・プルダウンを使うこともできる。

3	時代		
4	教科書のココを読んで！	まとめ・振り返り	
6	Lv. MAX	縄文時代では、狩りや漁採集などをして、食べ物を探り、竪穴住居にすんだ。土器は、縄文土器も出来た。弥生時代では、稲作や弥生土器や青銅器、鉄器なども広まった。高床倉庫と舟倉庫も出来た。	縄文時代と弥生時代では、どちらとも土器があり、食べ物には、動物や魚のみなどから稲作に変わった。など、時代によっているな変化があることがわかった。教科書を見て自分なりにまとめることが出来た
7	Lv. MAX	縄文・弥生時代の人々の生活は狩りや漁などで食料を集め、たて穴住居に住み土器や縄文土器などを作り、水田の近くに集落・高床倉庫も造ったり稲作・青銅器・鉄器などが中国から伝わってきたりした。	今日は教科書を読んで縄文時代と弥生時代の人々の生活の特徴について自分なりにまとめることができた。
8	Lv. 8	縄文・弥生時代には狩りや漁・採集を季節によって変えながら暮らしていた。中国から稲作が伝わり水田の近くに暮らしていた！！！！！！	
9	Lv. 7	縄文時代、弥生時代のひとは、たて穴住居に住み、土器や道具を使い、狩り、漁、採集、農耕などを行って生きていた。	日本の歴史の縄文時代と弥生時代のどうやって食べ物を取っていたか、どんな場所に住んでいたか、どんな農業のしていたかということが分かった。自分の目標レベルまで行けた

理科

ジャムボード

- ・付箋機能や画像の挿入がしやすい。
- ・手書きでも打ち込みでも文字入力することができる。

水とエタノールの温度変化

エタノールは水より沸騰する温度が低いから、先に出てくる。
 ⇒1本目に出てくる
 水はエタノールより沸騰する温度が高いから後に出てくる。
 ⇒3本目に出てくる

色	1本目	2本目	3本目
濁った	濁った	濁った	濁った
匂い	エタノール	少しエタノール	匂いなし
火をつけると	燃えた	燃えなかった	燃えなかった

1本目⇒エタノール
 2本目⇒エタノール・水
 3本目⇒水

熱した時の温度の変化

	1番	2番	3番
色	白い	白い	白い
におい	エタノール	なし	なし
燃えた	燃えた	燃えた	燃えた
エタノール	エタノール	エタノール	水

考察
 1番はアルコールのにおいから火についたら燃えたらエタノール
 2番は火についたら燃えなかったから水、エタノール
 3番は水

取組後の変容

今まで振り返りを文章で書くことが苦手な生徒や何を書いたらいいかわからなかった生徒が、他者参照を行いながら、自分自身の言葉で自分が学んだことや学び方に関して表現することができるようになった。また、白紙共有されていることで、「学んだことをどのようにまとめたらわかりやすいか？」などを考えながらアウトプットするので、授業中に頭をフル回転させて学習に取り組むことができている。